

# 第11期 第1回 豊中市廃棄物減量等推進審議会 議事録

【日 時】平成30年(2018年)8月7日(火)14時から16時まで

【場 所】豊中市消防局 3階会議室

【出席委員】浅利委員 渡辺委員 池本委員 下村委員 原田委員 長谷川委員  
新開委員 神保委員 吉田委員 米田委員 澤村委員 大西委員  
(15名中12名出席：有効に成立)

【傍聴者】0名

【事務局】河本、井藤、吉村、吉島、溝口、中川、岡本、渡邊、北野、松本、  
豊田、大道、池田、射場、鈴木、中西

【オブザーバー】鈴木(豊中市伊丹市クリーンランド事務局長)

## 1. 開会宣言(事務局)

## 2. 市長あいさつ(長内市長)

- ・審議会組織の説明、出席状況

## 3. 委員紹介(事務局)

## 4. 会長の選出

- ・渡辺委員推薦の声あり : 会長を渡辺委員に決定

## 5. 議長の交代

- ・市長から渡辺会長へ交代

## 6. 会長のあいさつ

## 7. 副会長指名

- ・会長が浅利委員を指名 : 副会長を浅利委員に決定

## 8. 市長から文書による審議依頼(諮問)

意見を求める内容

◎「第3次豊中市ごみ減量計画の総括について」

◎「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について」

- ・市長から会長に諮問を手渡し
- ・市長退席
- ・事務局から諮問の内容について説明

## 9. 会議録署名委員の指名

- ・会議録署名委員の指名 : 下村委員・大西委員を指名

## 10. 審議

### 案件1. 平成30年度(2018年度)審議会の進め方について

#### ○会長

それでは審議案件に入ります。案件1「平成30年度(2018年度)審議会の進め方について」事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局

(資料4に沿って説明)

#### ○会長

ただ今事務局から説明がありました審議会の進め方に、ご意見等ないようでしたら次の案件に進みたいと思います。何か確認されたい点などあればお願いします。

### 案件2. 第3次豊中市ごみ減量計画の総括(素案)について

#### ○会長

続きまして「第3次豊中市ごみ減量計画の総括(素案)について」事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局

(資料5-1・5-2に沿って説明)

#### ○会長

ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見などございましたら、ご発言ください。

#### ○副会長

資料5-1にある、再生資源の量の囲みの下にある挿絵に、「再生資源買取市」とあるが、これほどのような取組みか。また、今後も取り組んでいくのか。

#### ○事務局

再生資源買取市は、再生資源等の持ち去り禁止規定の条例化により市の回収量が増加することを見込み、収集運搬の負担軽減のための策として、平成28年度(2016年度)から実施しており、今後も継続する。平成28年度(2016年度)は、小学校32校と環境事業所で計168回開催し、約15tの回収量であった。平成29年度(2017年度)は、小学校には車での持ち込みができないなどの問題があったことから、開催方法を見直し、再生資源の取扱い事業者と環境事業所で計48回開催し、回収量は約17tと増加している。

## ○委員

家庭系ごみ排出量・市民 1 日あたりの量について、良く読み込まないと、「市民 1 人 1 日あたりの量」とわからないので見出しを修正してもらいたい。

## ○事務局

見出しの「家庭系ごみ排出量・市民 1 日あたりの量」を「家庭系ごみ排出量・市民 1 人 1 日あたりの量」に修正します。

## ○副会長

「開発行為で福祉施設や食品スーパーが増加している。」とあるが、どの様に調査しているのか。また、要因が特定できているのであれば、記載内容を詳細にしてはどうか。

## ○事務局

本市では、開発行為があると 200 m<sup>2</sup>以上でごみの設置場所について届け出が必要となり、平成 26 年度（2014 年度）から平成 29 年度（2017 年度）の間に、福祉施設が 30 件建設されている。また、実態把握については、福祉施設や食品スーパーなどでごみの組成を分析し、対応を検討したいと考えている。

## ○副会長

豊中エコショップ制度のステップアップ認定制度として、「優良」「優秀」とあるが、どちらが優れているのか。また、メリットはどのようになっているのか。

## ○事務局

ステップアップ認定制度は、まず「優良」があり、さらに取組みが進むと「優秀」としている。豊中エコショップ運営協議会において、「金」「銀」などの議論があったが、この形で採用されている。また、ステップアップのメリットとしては、「優秀」になっていただくと市の広報媒体である「ごみカレンダー」の広告枠にお店の情報等を掲載されることが一番大きなメリットとしている。「優良」については、この他の広報媒体で店舗を紹介するようにしている。

## ○副会長

認定店舗のモチベーションが上がるような仕組みづくりが必要と考えられる。

## ○委員

認定店舗のモチベーションについては、運営協議会の役員としても課題と考えているので、協議会でも議論していきたい。

## ○副会長

「事業者にとってコスト削減につながる情報を提供」とあるが、近年は、分別がコスト削減につながらない場合も出てきている。今後は、持続可能な 2R の取組み方の事例や内容を周知する考え方が必要となるので記載内容を調整していただきたい。

## ○事務局

平成 30 年度（2018 年度）から多量排出事業者の対象を月 5t から 3t に改訂し、市内 300 事業所が対象となり前年度より 28 事業所増加となっている。この 28 事業者に減量計画書の提出を求め、ごみの資源化を図るよう働きかけていく。コスト削減につながる情報としては、今年度の事業系一般廃棄物管理責任者研修会において、「気象データを用いた商品需要予測による食品ロス削減」をテーマとして実施している。

## ○委員

「家庭系ごみの総排出量については、目標を達成しておらず、さらなる取組みの推進が必要となる。」とあるが、可燃ごみに多く含まれる、食品ロスと紙ごみの削減が取組みの重点的な課題と考えられる。また、取組みを進めていく上で、市民の意識向上や高め方がポイントとなる。廃棄物減量等推進員との連携を強化し、意識の高い方を活用するなど、具体的な取組み方の記載が必要と考える。

## ○事務局

市民意識の向上や高め方については、平成 29 年度（2017 年度）に廃棄物減量等推進員と連携し、「レッツ水切りトライアル」や「フードドライブ」を実施している。平成 30 年度（2018 年度）からは新たな推進員が委嘱されており、その方々と今後も連携した取組みが進められるよう検討したい。

## ○会長

今後は地域コミュニティをどのようにうまく活用していくのかがカギになる。

## ○委員

家庭系ごみの排出について、新規の大規模な集合住宅では、ディスプレイの設置が増えていると考えられる。こういったディスプレイが設置されている集合住宅の生ごみは汚泥などで処理されることから、可燃ごみの量は減少すると思われる。それでも可燃ごみが減少していないとなれば、新たな減量施策が必要なのではないか。

## ○事務局

市のディスプレイの設置については、「豊中市ディスプレイ排水処理システム取扱要綱」があり、申請をすれば設置できるようになっている。近年の設置件数は、平成 27 年度（2015 年度）から毎年約 5 件程度となっている。大規模な集合住宅としては 270 棟あり、また、戸建ての家屋でも設置されている状況から、大規模な集合住宅の多くに設置されているわけではないと認識している。

## ○委員

ごみを出す際、分別がすぐに検索できるよう、市指定のごみ袋に「ごみと再生資源の分け方・出し方ガイドブック」の QR コードを記載してはどうか。

## ○事務局

ごみ出しの日程のお知らせや分別の検索、ごみの減量に係わる情報を配信している「ごみ分別アプリ」のQRコードを市指定ごみ袋の販売用の外袋に記載するよう検討している。

## ○委員

福祉施設から排出される紙おむつについては、鹿児島市等でリサイクルされているという事例があるが、豊中市としてはどの様に考えているのか。

## ○会長

国でも下水処理で対応できるよう検討はされているが、特に高齢者の排泄物については、病原菌対策などの衛生面の問題もあることから慎重に考えていかなければならない。現時点では焼却処分することが望ましいと考える。

## ○委員

再生資源の地域共同回収システムには、NPO 法人アジェンダ 21 と協力して商工会議所の会員企業も参加している。「協力事業者の拡充を図る必要がある。」とされているが、搬入先が遠方ということもあり、担い手不足の問題などからコスト増が見込まれている。企業の自助努力だけではなく、このようなシステムに参加する担い手を育成するような仕組みづくりが必要と考える。

## ○会長

従来 of 産業を守るような、行政の支援を考えることも必要である。また、担い手を育成するシステムの構築が必要と考える。

## ○委員

昔は一般廃棄物と産業廃棄物の区分が明確でなかったこともあり、区分を分けて収集していないこともあったが、近年は、しっかりと区分分けされている。事業者も取組み方に困っている所もある。

## ○委員

災害のごみへの対策はどうなっているのか。

## ○事務局

災害ごみについては、災害が起きる前からごみとなる可能性が高いものを減らすような取組みを紹介していきたい。

### 案件 3. 第 4 次豊中市ごみ減量計画の進行管理（素案）について

#### ○会長

続いて「第 4 次豊中市ごみ減量計画の進行管理（素案）について」事務局から説明をお願いします。

## ○事務局

(資料 6-1・6-2・6-3 に沿って説明)

## ○会長

ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見などございましたら、ご発言ください。

## ○委員

第4次の計画では、1人1日28g減らすことを目標としているが、市民が分かりやすい具体的な例示や目標達成するために手軽にできる取組みについても記載してもらいたい。

## ○事務局

第4次の計画で目標としている1人1日28g減らすというのは、10年後の最終目標として設定している。直近で達成すべき目標としては、1人1日14g減らすと、焼却処理施設で余力を持って処理できる量を達成できることから、14gをどのように減らせるのか、レジ袋の削減や水切りの効果も含めて取組例を検討し掲載していきたい。

## ○副会長

(仮称) ごみ減量プラン事業評価報告書(確定版)を作成し、全戸配布するとあるが、ボリュームはどの程度のものか。ボリュームが大きくなると読み手としては、見なくなる傾向がある。

## ○事務局

ボリュームについては、現在発行している、「フレフレごみ減量通信」と同じA3が2枚分程度のタブロイド判で考えている。

## ○副会長

発行については、推進員との連携で使えるような内容を記載してはどうかと考える。

## ○事務局

推進員との連携としては、記載内容が地域で活用できるような事例等を掲載することなどを検討していきたい。

## ○副会長

小学校等の環境学習を行っているが、その副読本的な教材としてごみ減量プラン事業等報告書(確定版)を活用できないか。

## ○事務局

小学校等の環境学習の教材としては、絵本を発行している。この絵本を改訂するか検討しているので、その際に連動する内容となるか検討していきたい。

## ○副会長

第3次のごみ減量キャラクターリサビットを小学生等からの人気もあることから第4次においても使用するとあるが、ごみを食べ過ぎて少し太ってしまったリサビットのダイエットの応援団として、子ども達や市民が取組みを進めるような提案をしてはどうか。

## ○事務局

リサビットの設定については、ごみを食べ過ぎて太ってしまったリサビットを痩せさせようという作者の思いもあるので、その設定を利用して取組みを進めるようなアイデアを検討していきたい。

## ○委員

災害がれきや災害ごみは、家庭系ごみの量に含まれてくるのか。

## ○事務局

災害により発生したかたづけごみとなる災害ごみについては、家庭系一般廃棄物に位置づけられるため家庭系ごみの総量には含まれることとなる。災害がれきについては別で回収・保管しており、家庭系には含まない。

## ○会長

豊中市では、一般廃棄物の基本的な処理とごみの減量を2つの計画で策定し、取組みを進めているが、一般廃棄物の減量を全体的にみると一つの計画で完結している方が分かりやすいと考える。条例の改訂もあるが、変更していく方向で考えていく必要がある。

## ○委員

なるべくごみを出さないように努力をしている市民が、なぜごみの減量目標が達成できていないのか疑問に思うことが考えられる。市民1人1日あたりの量は目標を達成しているが、人口が予想より増加したことが主な要因であるともっとはつきり載せてはどうか。その方が市民も納得するのではないか。

## ○委員

廃棄物減量等推進員が地域で活動をしているが、あまり認知されていないと感じる。個人で推進員の活動をもっと進めたいが、地域で認知されていないことから認知度を高める状況にあると感じる。

また、新しく高層マンションの建築が進んでいるが、入居されると必ずごみは発生するので、住民が入居する前に、ごみを減量するための組織を作ることはできないのか。

## ○会長

地域での出前講座など推進員だけでの実施は難しいが、行政がサポートして実施することはできるのではないか。特に新住民が多い地域ではこういったことが重要だと考えられる。

#### 案件4.「その他」について

##### ○会長

最後に「その他」の案件について事務局からお願いします。

##### ○事務局

(1) イベントの案内

- ・「生活情報ひろば事業『食品ロスはなぜ生まれ、どうやって減らすのか』」のお知らせ
- ・「環境フォーラム2018」のお知らせ

(2) 次回の案件について

次回案件は以下の通りです。

- ① 第1回審議会の振り返りについて
- ② 第3次豊中市ごみ減量計画の総括(案)について
- ③ 第4次豊中市ごみ減量計画の進行管理(案)について

日程については11月中旬ごろで考えております。決まり次第開催案内を送付いたします。

#### 11. 閉会